

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和3年1月29日 No.15
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

何よりもまず、本校教員による不祥事（窃盗事案）について深くお詫び申し上げます。

本事案は、昨日夕方にはニュースになっており本日の朝刊にも記事となっていました。中には校名が出ているものもあり、児童生徒・保護者の皆様には驚かれた方もいらっしゃるのではないかと申し訳なく思っております。

昨日の「臨時保護者説明会のお知らせ」でもお伝えしましたとおり、教職員の綱紀保持につきましては、機会あるごとに注意喚起してまいりましたが、このような不祥事を起こしてしまったことは誠に遺憾であり、児童生徒や保護者の皆様、府民の皆様に対し、多大なご心配・ご不安とご迷惑をおかけしましたこと、重ねまして心よりお詫び申し上げます。

本事案の詳細につきましては、改めまして、来週2月3日（水）10時からの保護者説明会にて、ご説明いたします。ご質問等がありましたら何なりとお聞きください。いただいたご意見等を真摯に受け止め、よりよい学校づくりの参考とさせていただきます。なお説明会后に、説明会報告書を作成しお配りします。

また、本校の教職員は昨日、綱紀保持に関する研修を行いました。

児童生徒や保護者の皆様、府民の皆様にご心配・ご不安とご迷惑をおかけしていることをしっかりと認識し、力を合わせて信頼回復に努めなければならないと伝えました。

研修につきましては、教育公務員として法令を遵守し、勤務中はもちろん、勤務時間外においても自らの行動を律する必要があるといったことについて考える場とし、同僚間でワークを行いました。

児童生徒への支援につきましては、密を避けるよう学部・学年別に人数を調整し、本日臨時集会を開きました。校長より「おわびの気持ちを伝えるために集まってもらった」「本校の先生がお金を盗った」「盗ることは悪いことなので先生が学校を辞めることになった」「みなさんは何も悪くない」「心配やしんどいことがあった場合は、担任に伝えてほしい」「2月2日には、気持ちを聞いてもらえる専門の先生にきていただくので、安心して気持ちを伝えてほしい」「安心して学校生活を送ることができるよう先生みんなで力を合わせていく」「本当に申し訳なかった」といった内容で児童生徒に説明とお詫びをしました。

また過日には、児童生徒の不安な気持ち等をしっかり受け止めるために、当該学年担任・小学部各学年主任・各学部主事等が、本校で教育相談を担当していただいている臨床心理士の荒牧先生から心理的ケアについてのレクチャーを受けています。

さらに、児童生徒にお伝えしたように、2月2日（火）9時30分～12時30分の間には、荒牧先生に会議室に常駐いただき、必要に応じて相談できるよう準備しています。

ご家庭で、お子様の様子で気になる点があるようでしたら、お手数をおかけいたしますが、連絡帳・お電話等で担任までお知らせください。気持ちに寄り添い話を聴くなど、お子様が安心できるよう丁寧に支援していきます。

最後に繰り返しとなりますが、心よりお詫び申し上げますと共に、二度とこのようなことが繰り返されないように、再発防止・信頼回復に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。